

2024(令和6)年度 第8号

岩国市教育委員会 生涯学習課

地域連携教育だより

いわくに地域連携教育アドバイザー

岩国市HP



つながり

大上好久

令和6年8月1日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456

岩国市中央公民館
通津分館



二次元コードから
閲覧可能です。

公民館が 中学生の学びの場に!?



文部科学省は、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（中教審 答申）」〈平成30年12月〉で「多様な主体との連携・協働の推進」の具体的方策として、次のように述べています。「児童生徒が実社会・実生活の中から主体的に課題を見付け、その解決に向けて学びを深め、実践することを重視する観点から、公民館や図書館、博物館等の社会教育施設を『総合的な学習の時間』で、積極的に活用し、子供たちが地域の中で活動しながら学ぶ機会を充実する。」

本号では、乳幼児親子を対象とした「ふれあい学級」を、中学校の家庭科の学習とコラボさせ、公民館を会場として実践している岩国市中央公民館 通津分館を紹介します。



学校との連携・協働を強化し、地域学校協働活動の拠点をめざす 公民館！



【岩国市中央公民館 通津分館】

「育児に関する知識の習得と母親支援」のための公民館講座

「幼児の生活と家族」について学ぶ中学3年生の家庭科の授業

【通津中学校】

エプロンシアター、喜んでもらってとても嬉しかった。〈中学生〉

学校では、乳幼児の体や心の発達、接し方等について教科書で学びました。上手く接することができるか不安でしたが、母子保健推進員やお母さんたちのおかげもあり、中学生はしっかりと触れ合えました。体験を通しての学びは最高でした。〈担当教諭〉

こんなに喜ぶなんて、めっちゃ可愛い。〈中学生〉

やっと抱っこできた。とても柔らかいな。〈中学生〉

中学生が、優しく、上手に遊んでくれて有難かった。いつもは一人で育児なので… 〈保護者〉

新聞プール、大喜びの子もいるけど、怖がる子もいるんだな。〈中学生〉

中学生37人に対し、親子10組が集まりました。母子保健推進員や由宇保健センターのご協力で、親子にとっても有意義な講座となりました。〈安部 社会教育指導員〉

社会教育の中核を担う公民館施設を、学校教育の場として提供し、乳幼児への温かいかわりを演出することで、幅広いつながりが生まれていました。中学生にとっては人間としての成長、自己実現につながっていく活動であり、保護者にとっては中学生の姿がわが子の成長への期待へとつながっているようでした。「人づくり」「つながりづくり」が「地域づくり」に発展していく可能性を感じました。

